

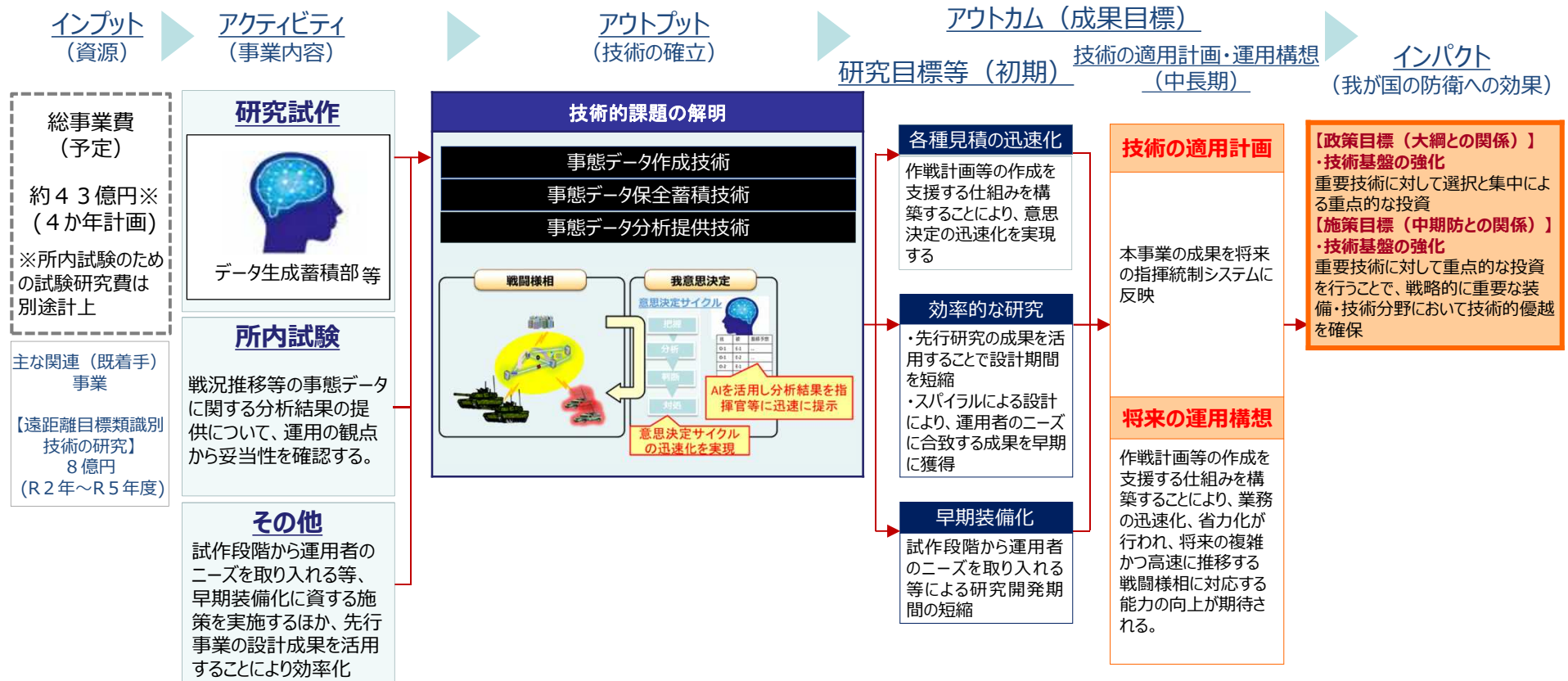
ロジックモデル(意思決定迅速化技術の研究)

【事業の概要】

将来の複雑な戦闘様相に対応できるよう、指揮官等が、多種多量の情報を基に、迅速な判断を行うための意思決定迅速化技術に関する技術を獲得する。

現状・課題

将来の複雑かつ高速に推移する戦闘様相に対応するためには、様々な状況が想定される各種事態に対処できるよう、平時より将来の戦い方について案出するとともに、各種事態が発生した場合においては、指揮官等が、案出した戦い方を含め多種多量の情報を把握し、迅速な判断を行う「指揮統制サイクルの優越」が必要である。



<研究開発実施線表>

年度	令和5	6	7	8	9
実施内容	← 本事業 (研究試作) →				
				所内試験	

総合評価

多種多量の情報を把握し、迅速な判断を行う「指揮統制サイクルの優越」に資するため、意思決定迅速化に関する研究に取り組むことは妥当である。指揮官等の意思決定の迅速化については、その特性を十分に考慮しつつ、先行研究の成果を十分活用するとともに、有識者から得られた知見を取り入れることで、更なる研究の効率化が期待できることから、本事業に着手することは妥当であると判断する。